授業科目	特別支援教育論					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	山根　正夫						
授業概要	今日のインクルーシブ教育・我が国の特別支援教育について概要を説明し、障害児の教育及び特別な教育的ニーズのある幼児児童生徒の教育の実際について解説する。						
授業形態	講義				授業方法		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1　特別な支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解している。 2　特別な支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する学校制度を含む教育課程や支援の方法を理解している。 3　特別な教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難とその支援の在り方について理解している。 4　保護者・専門機関・地域との連携について理解している。 上記目標の 70%達成している。
理想的レベル	標準的レベルに加えて特別支援教育について目標の 90%を達成している。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	100%	
小テスト		
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	NT34107J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
テキスト該当箇所を読んで事前学習し、その内容を復習で確認する。	4

授業計画	
第 1 回	障害児（特殊）教育からインクルーシブ教育へ ー障害があるということ、インクルーシブ教育・特別な教育的ニーズ教育・特別支援教育に関する理念及び枠組み
第 2 回	特別支援教育の概念と制度 ー特別支援学校・特別支援学級・通級制度の位置づけ及び教育課程、校内の支援体制、個別の教育支援計画・指導計画
第 3 回	障害児教育・福祉の理念及び歴史の変遷

	ー教育・福祉の理念の変遷、欧米の障害児者の歴史、我が国の障害児者の歴史
第４回	発達障害のある幼児児童生徒の理解と援助 ー知的障害、自閉症スペクトラム障害、注意欠如多動性障害、学習障害
第５回	身体障害のある幼児児童生徒の理解と援助 ー肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、言語障害
第６回	特別な教育的ニーズのある幼児児童生徒の理解と援助 ー不登校、外国籍、貧困、マルトリートメント、性別違和、病弱・医療的ケア児、重症心身障害児
第７回	家庭・関連機関・地域との連携 ー障害のある子どもの家庭支援、関係機関・地域との連携
第８回	全体のまとめ
テキスト	松浪健四郎監修(2021)　特別支援教育　中山書店
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書は各授業ごとに紹介します。障害児教育等についてさらに深く学びたい学生には文献等紹介します。
課題に対するフィードバックの方法	特になし。
学生へのメッセージ・コメント	授業だけでは個々の障害状態や教育的ニーズ及び社会資源を含む支援システムについて十二分には解説できません。各自が主体的に障害の概念や各々の障害及び特別な教育的ニーズとは何かを学び、支援に係わる社会至言についても理解を深めるように努力してください。 特別支援教育の対象は幅広く個々の状態もそれぞれ異なります。基本的な特性を理解するだけでなく、さらにそれぞれの障害や特別な教育的ニーズのある子どもについて主体的に学んでください。 尚、テキストは１５コマ相当で編集されています。予習復習用教材としてぜひ活用してください。 口頭或いはメールでも構いませんので積極的に質問してください。